



〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350
TEL 028-649-8649 FAX 028-649-5026 URL http://www.utsunomiya-u.ac.jp
E-mail plan@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp



豊かな発想を地域に、新たな知を世界へ

NOW

● vol.3

発行：宇都宮大学
編集：広報室

CONTENTS

- 1 メディアと遊ぶ 研究の現場から
- 2 特集 スタートしたメディア教育
- 3 座談会「双方向でコミュニケーション、それがメディアの理想形」
- 4 退任にあたって MESSAGE
- 5 SLOW FOOD
- 6 学生アンケート「宇大生は今！」
- 7 INFORMATION
- 8 研究 Keyword

メディアと遊ぶ

研究の現場から

メディアに問う

カラス博士
すぎた
杉田 昭栄
しょうえい



「カラス博士」の異名で、カラスの研究者としてメディアの脚光を浴びている杉田昭栄教授。テレビなどの情報は、現実の全体像のほんの1かけらに過ぎない場合が多い。私たちは、杉田教授へのインタビューを通して、どの程度真実を読者に伝えられるかというメディアの難しさに挑戦してみた。(取材・農学部3年 中山未来 / 農学部1年 廣田真人)

■カラスの体にメスを入れた人

「歓迎の鳴き声ですよ」。研究室の中庭で気ままに遊びまわっているカラスに杉田教授が呼びかけると、かつて聞いたことのない、ニワトリのような鳴き声でカラスが応えた。まるで飼った猫がじゃれるように教授の差し出す紐を突つく。そこにはギヤーギヤーと人を威嚇し、畑を荒らし、ゴミを散らす攻撃的なカラスとは、まるで違う鳥の姿があった。

このカラスのように比較的人なつこいハシボソガラスと警戒心の強いハシブトガラスの2種類(日本には全部で5種類いる)が、私たちの身近にいたことを知った。

■実験のために飼っていたニワトリがカラスに殺されたんです

ね。これは何とかしなければと思って、カラスの研究を始めたんです。フィールドで生態を研究している人はかなりいますが、体にメスを入れた人はいませんが、例えば、カラスは賢いといいますが、その脳はどうなっているのか、そういった解剖までする研究者がいなかったんです。

■社会に還元できる研究

岩手県の農家に生まれ「家の役に立つだろう」と宇都宮大学農学部に入る。しかし、当時の大学はまさに大学紛争の真っ最中であった。

■「実は入学式も卒業式も経験していない。授業もなかったから、もう一度自分の進路をリセットして、興味があった「脳」を本格的に勉強しようと思いました」

卒業後、千葉大学大学院医学研究科の博士課程、助手、アメリカ留学を通して、脳解剖・神経解剖学を専門に10年間、脳をテーマとして研究に没頭した。今の研究もその延長線上にある。「動物の脳のどういうところに視る力があるのかなど、目の構造や仕組み、脳の仕組みを実際に解剖して研究してきました。犬やカラスの鳴き声も研究しましたよ。先日はクジラ(ハナゴンドウ)の脳を手に入れました。重さは2kgくらいあるんです

■「動物の脳のどういうところに視る力があるのかなど、目の構造や仕組み、脳の仕組みを実際に解剖して研究してきました」

「僕は解剖学の基礎を知っていたから、カラス対策に応用できただけです。大学人として、顕微鏡で見て、基礎的な研究を積み重ねてきたからですね。基礎学があつての応用です。大学は基礎学をないがしろにしては

■「メディアは情報を削りすぎる」

今や、杉田教授の研究に、東京をはじめ全国の自治体から相談や問い合わせが殺到し、メディアは社会的な話題として競って取り上げている。「メディアの取り上げ方はゴミ袋の黄色のカラーばかりを前面に出して、黄色ならなんでもいと思われてしまうんですね。今話題になっている黄色のゴミ袋は、特定の光波長を吸収

■「人間の生活が自然のバランスを崩しています。カラスなぜ鳴くの……と、『七つの子』の歌を日本人は口ずさみますが、あのようなどかな風景が見られる世の中をつくりたいですね。自然の一部としてカラスを見られるようになったらいいなあ。これからも、まだまだカラスの研究は続きます。カラスの言葉がわかったら、嬉しいですね」

して、カラスの視覚認識に大切な波長域をカラスの目にとどかないようにしています。また人間にはそれが黄色に見えるということなんです。メディアは情報を削りすぎます。正しく伝えていないですね。そして、杉田教授は最後にほのぼのと夢を語ってくれた。「人間の生活が自然のバランスを崩しています。カラスなぜ鳴くの……と、『七つの子』の歌を日本人は口ずさみますが、あのようなどかな風景が見られる世の中をつくりたいですね。自然の一部としてカラスを見られるようになったらいいなあ。これからも、まだまだカラスの研究は続きます。カラスの言葉がわかったら、嬉しいですね」(文・ヒース編集室 / 撮影・柳井 隆)

PROFILE

【すぎた・しょうえい】1952年、岩手県岩手郡雫石町に生まれる。76年、宇都宮大学農学部卒業。82年、千葉大学大学院医学研究科博士課程修了。●研究テーマ(1)動物の中樞神経系の機能比較。(2)動物の視覚機構に関する研究。最近(3)カラスの生体機構と忌避行動に関する研究 ●著書「カラス なぜ遊ぶ」(集英社新書)、「カラスとかしく付き合う法」(草思社)、「カラスーおもしろ生態とかしい防ぎ方ー」(農文協)等。●11月27日(日)20:00~21:00 「どうぶつ奇想天外(TBS)」に出演予定。カラスの鳴き声の意味、なぜ群れをつくるかなど解説。